

平成20年度ダイオキシン類濃度監視結果について

1 調査の目的

高知県において、継続的なダイオキシン類濃度調査により、地域の汚染の状況を把握することによって、発生源の状況や高濃度地域の把握、排出抑制対策の効果の把握等を行い、ダイオキシン類対策の基礎資料とすることを目的としています。

2 調査地点

- (1) 公共用水域水質 17 地点
- (2) 公共用水域底質 16 地点
- (3) 地下水質 2 地点

3 調査結果の概要

(1) 公共用水域水質

ダイオキシン類濃度は、0.062～0.44 pg-TEQ/L(平均値0.13 pg-TEQ/L)であり、すべての調査地点で環境基準値(1 pg-TEQ/L)を下回っていました。

(2) 公共用水域底質

ダイオキシン類濃度は、0.21～47 pg-TEQ/g(平均値5.4 pg-TEQ/g)であり、すべての調査地点で環境基準値(150 pg-TEQ/g)を下回っていました。

(3) 地下水質

ダイオキシン類濃度は、0.062～0.062 pg-TEQ/L(平均値0.062 pg-TEQ/L)であり、すべての調査地点で環境基準値(1 pg-TEQ/L)を下回っていました。

表1 平成20年度結果集計表

媒体	区分	測定地点数	測定結果			単位	環境基準
			最低値	最高値	平均値		
水質	河川	14	0.062	0.440	0.14	pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L以下
	湖沼	1	0.067	0.067	0.067		
	海域	2	0.066	0.077	0.072		
	計	17	0.062	0.44	0.13		
底質	河川	13	0.21	47	5.8	pg-TEQ/g	150pg-TEQ/g以下
	湖沼	1	0.66	0.66	0.66		
	海域	2	0.22	9.9	5.1		
	計	16	0.21	47	5.4		
地下水質	—	2	0.062	0.062	0.062	pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L以下

pg: 1兆分の1グラム